

# 最近の雇用情勢について

(令和元年11月)

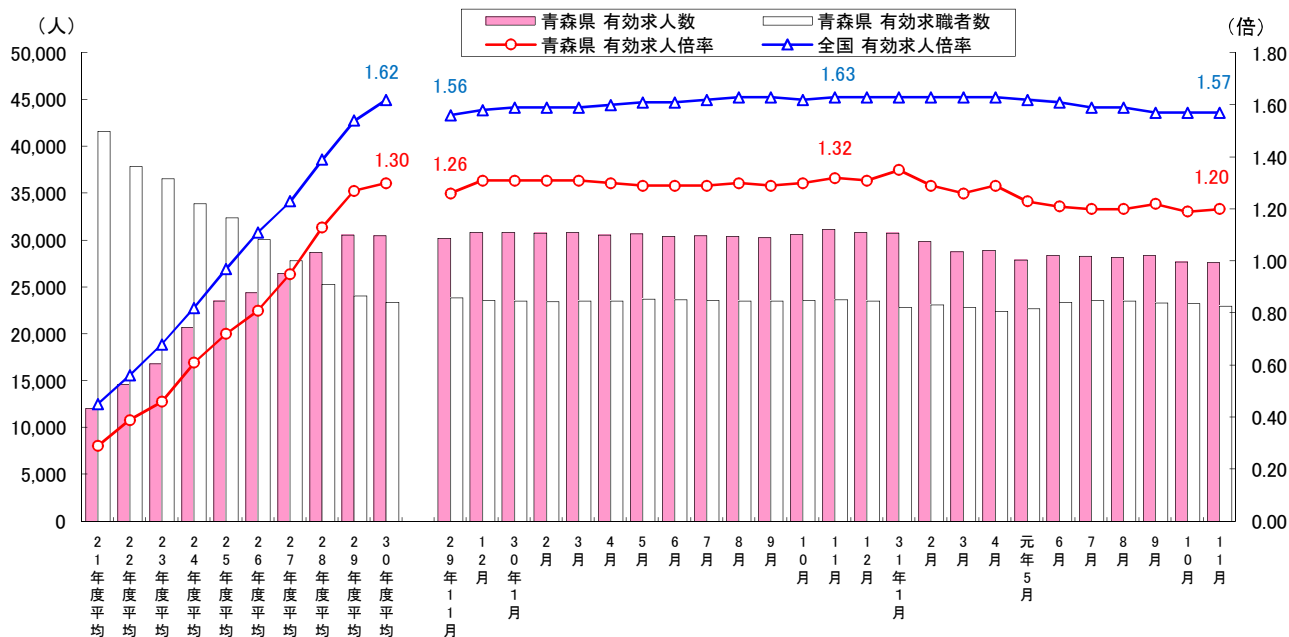
青森労働局

## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

11月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.3%減少し27,634人、有効求職者数(同)は1.0%減少の22,986人で、有効求人倍率(同)は1.20倍となり、前月を0.01ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.32倍と前月より0.01ポイント上回り、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

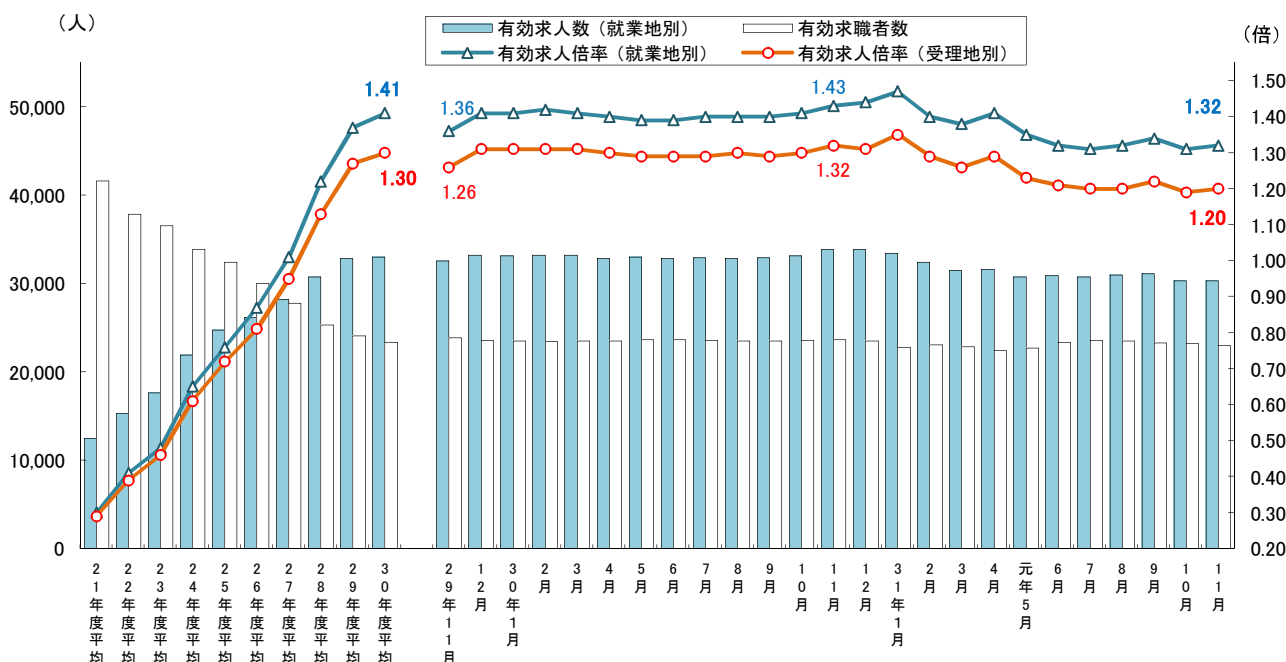
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

## 【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

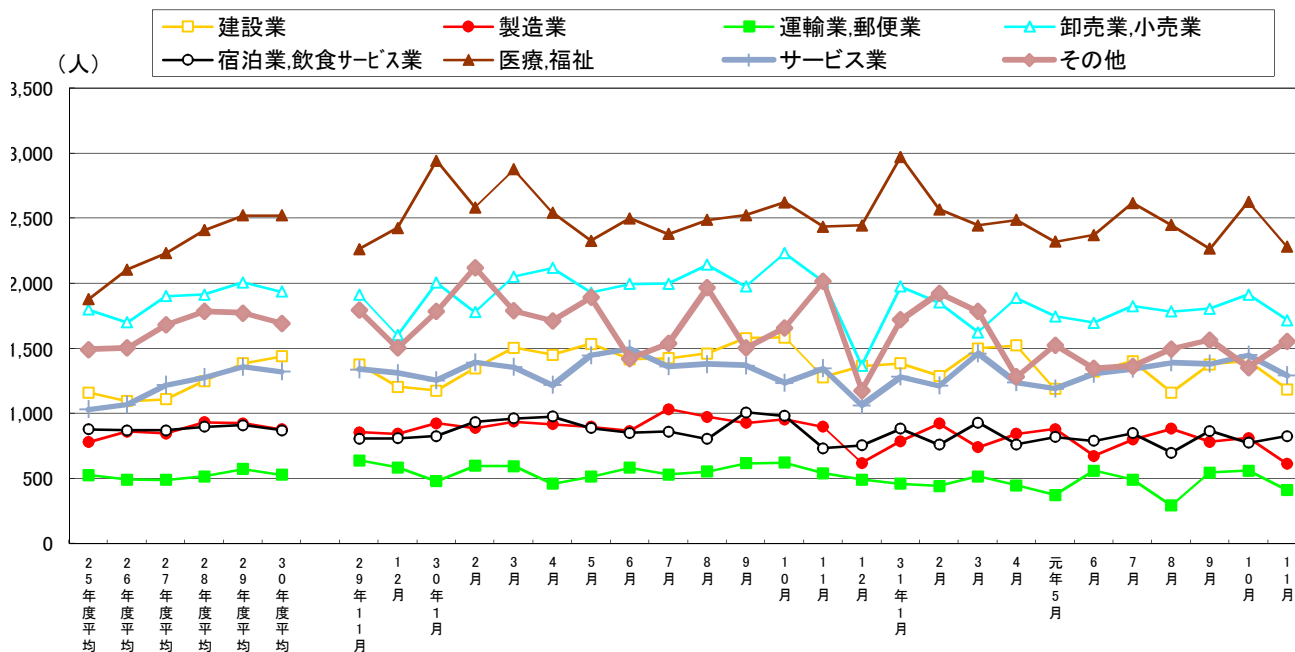
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

11月の新規求人数(原数値)は前年同月比12.3%(1,381人)減少の9,888人。

主な産業別で前年同月と比較すると宿泊業、飲食サービス業等で増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、郵便業、卸売業、小売業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、木材・木製品製造業(家具を除く)家具・装備品製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。情報通信機械器具製造業は同数であった。



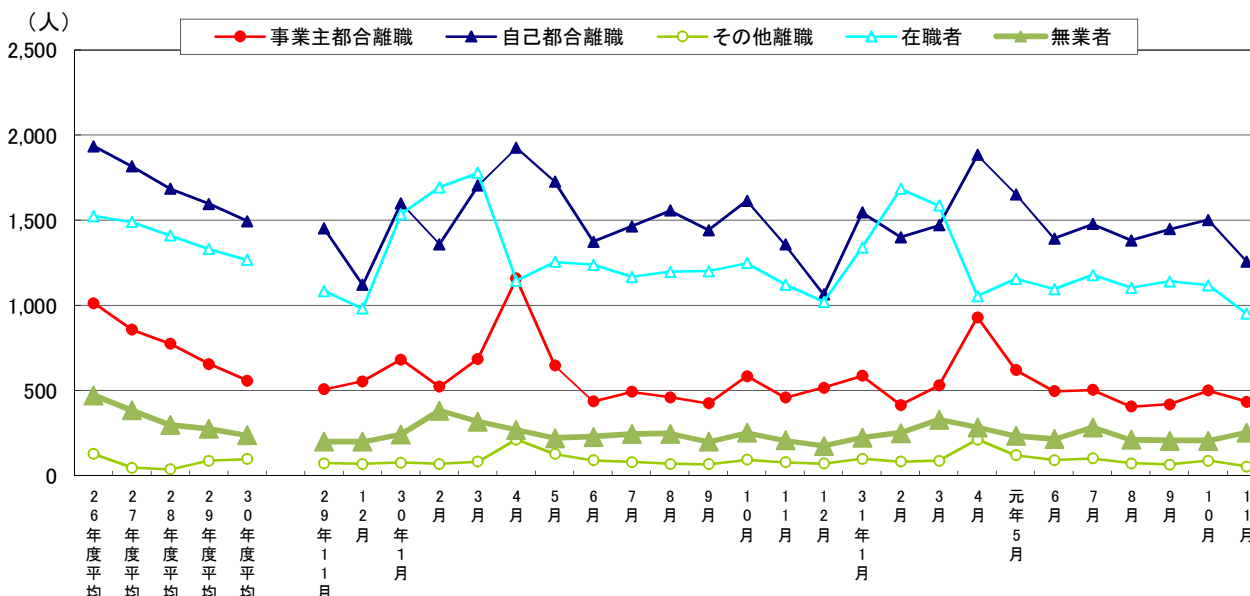
平成26年4月内容より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農,林,漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

11月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比8.3%(269人)減少の2,958人。

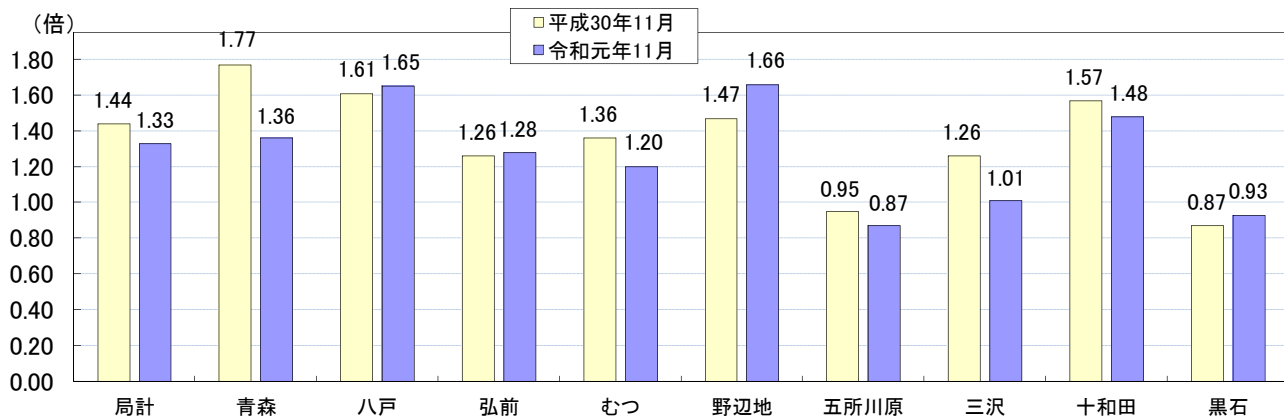
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は15.1%(170人)減少、無業者は23.2%(48人)増加、離職者は7.7%(147人)減少となった。

離職理由別では、事業主都合は前年同月比5.2%(24人)減少、自己都合は同7.3%(99人)の減少となった。



#### IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

11月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.33倍となり、前年同月より0.11ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R1.11	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	21,172	5,471	4,805	3,866	1,024	713	1,974	1,195	1,051	1,073
有効求人数	28,195	7,424	7,930	4,946	1,233	1,186	1,708	1,211	1,557	1,000

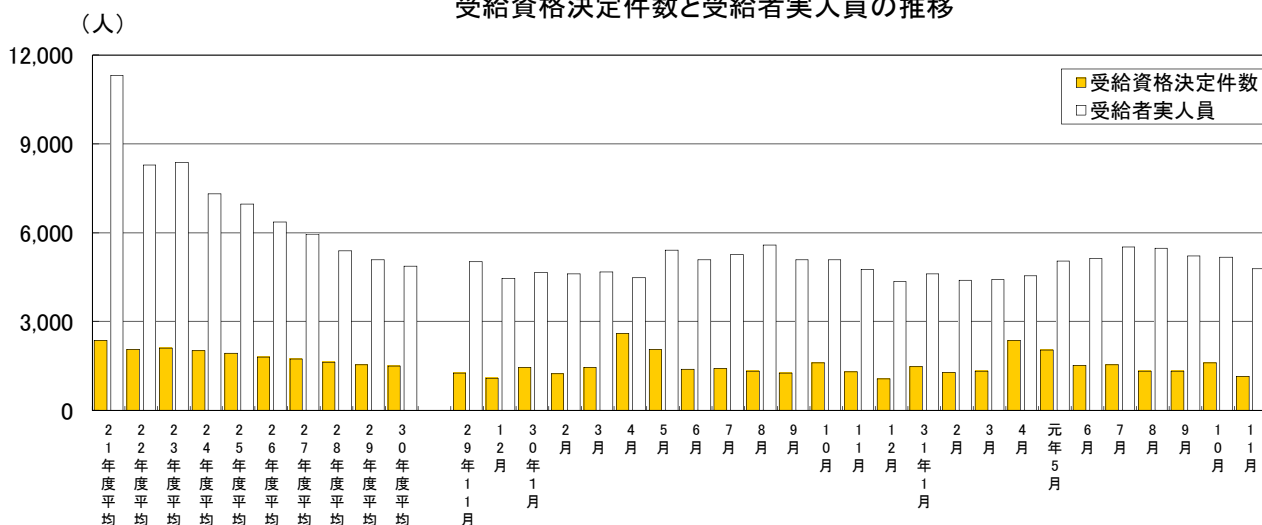
(単位:人)

#### V 雇用保険の状況

11月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比0.5%(25人)増加、前月比では7.3%(377人)減少の4,795人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比11.3%(148件)減少、前月よりも27.9%(448件)減少し1,156件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比9.1%(22人)減少、前月比5.2%(12人)減少し221人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

